

別紙3（第7条関係）

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和5年度第3回宮古市休日急患診療所運営協議会を、次のとおり開催しました。

令和5年11月17日

宮古市休日急患診療所運営協議会

1 開催日時

令和5年10月24日（火）午後6時45分から

2 開催場所

宮古保健センター1階大会議室

3 議題

(1) 令和4年度及び令和5年度宮古市休日急患診療所の運営状況について

(2) その他

4 会議の概要

議題について事務局より説明を行い、審議のうえ承認された。

詳細は別紙会議録のとおり。

5 問い合わせ先

宮古市保健福祉部健康課

電話 0193-64-0111（宮古保健センター内）

令和5年度第3回宮古市休日急患診療所運営協議会会議録

- ・日 時 令和5年10月24日(火)
- ・場 所 宮古保健センター1階大会議室
- ・出席状況
 - <委員> 佐藤会長、林委員、後藤委員、豊島委員、川原田委員、奥委員、清水川委員、杉江委員、川村委員
 - <市> 山本市長、佐々木保健福祉部長、菊池地域保健医療推進監、大向健康課長、大越地域保健医療係長、畑中主任
- ・会議時間 午後6時45分～午後7時40分
- ・会議内容 以下のとおり

1 開会 大向健康課長

2 あいさつ 山本市長、佐藤会長

3 報告事項

(1) 令和4年度及び令和5年度宮古市休日急患診療所の運営状況について

(質 疑)

委員 歳入の増はコロナ関係によるものか。

事務局 コロナ患者数の増によるものが大きいと捉えている。

委員 県立宮古病院に二次転送となった患者は、コロナ関係の重症者か。

事務局 コロナ患者のほか、外科的な骨折等の疑いがあるが検査設備の関係で検査ができず、県立宮古病院に診療依頼した患者もいる。

委員 他に何か意見等がないようであれば、承認するという事によろしいか。

全委員 了承。

4 協議事項

(1) インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療及び検査体制について

(質 疑)

委員 現在、発熱患者についてはドライブスルーで診療している。仮に発熱患者が50名を超えるような流行になった場合、ドライブスルーのまま2名体制にして意味はあるのか。今後もドライブスルーを続けるのか。

- 委員 おそらくコロナよりインフルエンザが増える。であれば、臨機応変にどこかで切り替えが必要な時期ではある。
- 委員 コロナ以前にもインフルエンザ対策として2名体制にするという話もでていたが、予約状況が50名ということで良いか。
- 事務局 予約が当日のみの受け入れとなるので、当日50名に達してから2名体制にするというのは難しいとは思っている。
- 委員 当院と豊島医院で感染状況を見て、50名を超えそうな場合に調整をするのはどうか。ドライブスルーの継続についてもその際に判断したい。
- 委員 ドライブスルーは廃止してもいいのではないか。コロナもインフルエンザと同様の対応に切り替えるタイミングなのではないか。
- 委員 コロナの感染力は弱くなってきているように思う。仮に、診療所で2名体制になった場合の診療方法を教えていただきたい。
- 委員 2名の医師が時間交代で、もしくは同時に診療する。しかし、看護師と事務のセクションで待たされ、結局は効率的には変わらない。
- 委員 ドライブスルーを廃止するなら早い段階が良い。
- 委員 豊島委員の意見も賛同はできるが、まだ医師会ではインフルエンザとコロナを同等に対応することは難しい現状にある。
- 委員 実際に感染患者の症状は軽く、感染しても気づかない場合もある。発熱外来のコロナの特別扱いは不要だと思う。換気さえきちんと実施すれば、感染リスクはかなり下がると思う。
- 委員 状況を見て、流行期に入ったら2名体制にすることで良いのではないか。また、予防対策も厳密にしなくても良いように思う。
- 委員 当院では毎月1、2名のコロナ感染者がいるが、ほぼ症状が軽い、または無い。感覚的にはインフルエンザが多いように思う。
- 委員 では、川原田医院と豊島医院で感染状況を見ながら医師を増やすか判断をしてもらおう。伴って、分離しての診療が難しくなった場合は、体制を簡略化して検査、治療をするということによろしいか。

委員 ドライブスルーについてはどのようになるか。受診者は待合室で待つより、車で待機している方が楽なのではないか。予約数の上限が50名なので、現行のとおりで良いのではないかと思う。

委員 では、50名まで現体制で、50名を超えるようなら2名体制に変更するということがよろしいか。

委員 挙手多数により了承。

(2) その他

①協議事項 年末年始の診療について

(質 疑)

委員 今年12月31日が日曜なので、カレンダーのとおりで良いのではないか。

委員 1月1日は国の祝日で、1月2、3日は診療日としている。毎年問題となるのは12月31日である。

委員 年末年始は慣例として診療した方が良いと思うが、皆さんの意見を伺いたい。

委員 そこまで必要性は感じられない。

委員 医師会に持ち帰って検討したい。

委員 県立宮古病院の医師や院長の考えはいかがか。

委員 宮古市は他地域に比べて、積極的に診療してくれているので助かる。

委員 医師会としては、12月31日、1月1、2、3日を診療としたい。

事務局 条例のとおり診療とし、コロナの感染状況によって別途ご相談させていただきたい。

全委員 了承。

②報告事項 雨漏り対策について

事務局 医師会からお借りしている建物であるので、市が修繕のうえ、引き続き使用させていただいてもよろしいか伺いたい。

全委員 了承。

5 その他

委員 車のないコロナ陽性患者について、タクシーの乗車拒否があったとのこと。

事務局 本件については、市の公共交通推進課へ情報提供した。タクシー協会としては、コロナ陽性患者を乗車拒否はしないとの考え。また、市からも改めてそのように依頼した。

委員 宮古病院へ急患で行って、帰りのタクシーがなく帰れないこともある。タクシー協会に出来るだけの対応をお願いしたい。市からも声を上げて欲しい。

6 閉会